

集

特

平成25年名古屋北監督署管内労働災害発生の概要

死傷者1019人、うち死亡2人

名古屋北労働基準監督署

平成25年度は名古屋北署「第12次労働災害防止推進計画」の初年度で、

①死亡者数について、

平成29年において、4人を大きく下回ることを、

②死傷者数について、29年において、平成24年と比べて15%以上減少させること、

③化学物質等に係る労働者の健康障害防止対策の推進を図ること、

を計画目標として取り組みましたが、平成25年の名古屋北労働基準監督

署管内における休業4日以上の労働災害による死傷者数は1019人で前

年より64人増加しました。内訳は死亡災害が2人と

なり前年より2名の減少、休業4日以上労働災害では66人の増加となりました。

平成25年の死亡災害について見ますと――

業種別では、製造業と運輸交通業にて各1人、事故の型別では、「転倒」

で1人、「交通事故」で1人となりました。

平成25年の休業災害について見ますと――

製造業では、212人中30・7%の65人が「はさまれ・巻き込まれ」で、多くは一般動力機械や金属加工用機械で発生しました。

次いで「転倒」46人、「墜落・転落」26人、「切れ・こすれ」18人、「飛来・落下」15人、「動作

労働者の熱中症防止に十分なご配慮を！

名古屋北労働基準監督署

平成25年 名古屋北署管内死亡災害発生状況

名古屋北労働基準監督署

発生時期	業種 (労働者数)	年齢(経験) 被災者職名	●事故の型 ●起 因 物	災 害 状 況
7月	運送業 (30~49人)	50代(2年) 運転者	●交通事故 ●トラック	山梨県甲州市の中央自動車道上り線で、単独事故により追い越し車線をふさぐように停車したトラックに、被災者が運転するトラックが追突して停車したところへ、さらに、後続のトラックが衝突した。現場は片側三車線の緩やかな右カーブであった。
10月	製造業 (30~49人)	60代(5年) 営業員	●転倒 ●階段、さん橋	二階建て建物内の屋内階段の踊り場において、あお向けに倒れていたもの。

の反動・無理な動作」15人、「激突」13人となっています。

建設業では、77人中36・4%の28人が「墜落・転落」で、多くは脚立や足

場からの墜落・転落で発生しました。次いで「飛来・落下」9人、「切れ、こすれ」9人、「動作の反動・無理な動作」8人となっています。

運輸業（運輸交通業と貨物取扱業）では、216人中24・1%の52人が「墜落・転落」で、多くは荷物の積み卸し作業で荷台から転落する災害で

した。次いで「交通事故」44人、「転倒」32人、「動作の反動・無理な動作」30人、「はさまれ・巻き込まれ」17人、「激突」16人となっています。

工業的業種以外では、商業で157人、接客娯楽業で85人、ビルメンテナンス業及び保健衛生業で各53人が被災しています。

また、傷病性質的に分類してみると、「骨折」が487人、「打撲傷」が207人、「創傷」が121人、「捻挫」113人となっており、他に「災害性腰痛」が32人、「熱中症」が3名となっています。

平成25年度を初年度とし、平成29年度を目標年度とする5カ年計画に基づき、引き続き誰もが安心して健康に働くことができる社会を実現するために、各種重点施策を展開してまいりますので、事業場における安全衛生管理活動の推進・活性化に引き続きご協力をお願いいたします。



第87回全国安全週間スローガン

みんなでつなぎ 高まる意識 達成しようゼロ災害

主唱 厚生労働省・中央労働災害防止協会

名古屋北労働基準監督署の
ダイヤルインご案内

監督係(方面)

〈052〉 961-8653

安全衛生係(安全衛生課)

〈052〉 961-8654

労災保険係(労災課)

〈052〉 961-8655

庶務係(業務課)

〈052〉 961-8652